

テーマ	観光地の梅林の景観を保全するため協議会主導で耕作放棄地を解消		
実施年度	平成23年度	解消面積	38a
取組主体	小城市耕作放棄地解消対策協議会	活用事業等	耕作放棄地再生利用緊急対策事業
発生要因、経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小城市は佐賀県中央部、北に天山山系を望み、南は佐賀平野の西方に位置する。農家の高齢化や農作物の価格低迷、鳥獣被害等により中山間部を中心に耕作放棄地が増加している。</li> <li>・ 小城市牛尾山には参道が梅林に囲まれた牛尾神社があり、梅の開花時期のお祭りにはたくさんの観光客が訪れる。しかし、その参道沿いには耕作放棄地があり、長年の耕作放棄で雑草だけでなく雑木も混在している状況で景観を損なっていた。</li> <li>・ このため、耕作放棄地解消対策協議会は解消方策を検討、農業委員であるA氏に耕作放棄地を借り受けと解消に協力を求めた。</li> </ul>		
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解消に当たっては耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用。重機を用いて雑木の伐採などの再生作業のほか、土壌改良、営農定着(梅)を実施した。</li> <li>・ 耕作放棄地解消対策協議会は、再生した梅林に、「農地を適正に管理しましょう」との看板を設置し、農地の適正利用と耕作放棄地の発生抑制を啓発している。</li> </ul>		
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梅の開花時期には祭りが開催され、たくさんの観光客で賑わう参道であるが、約1万3千本ある梅林のほぼ中央にあった耕作放棄地が解消され、景観上の改善、イメージアップに繋がっている。</li> <li>・ 人目についた耕作放棄地が再生されたことで、地域の耕作放棄地の解消の機運が高まり、周辺の耕作放棄地も再生されるなど、解消モデルとして地域波及もしている。</li> </ul>		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当地区では、梅の果実の加工・販売にも取り組んでおり、今後の拡大に期待している。</li> <li>・ 周辺にはみかん園が点在しており、価格低迷や高齢化、後継者不足による荒廃が懸念されるため、耕作放棄地解消対策協議会として、引き続き適正な農地管理を求めていく必要がある。</li> </ul>		
事例写真	 <p>耕作放棄地解消前</p> <p>解消中（梅の植樹）</p> <p>耕作放棄地解消後の参道から景観</p>		
連絡先	小城市耕作放棄地解消対策協議会(小城市農林水産課) TEL 0952-37-6125		